



管理者 金森翔

2026年
ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は、皆様のご厚意もあり、多くの方が希望する職場で新たな門出を迎えることができました。ありがとうございます。
 さて、当事業所でも今年度からは本格的に、就労選択支援事業の運用が始まります。就労選択支援事業はご本人の意思決定支援です。「働く」ことを希望する障害をお持ちの方が自信を持って将来に向けて希望を持てるような取り組みにしていきたいと思っています。

障害を持つ方が働くことへの社会の認識は現場で働く私達からみると、本当に大きく変わっていることは、好ましいですが、障害者雇用の拡大に伴い、働くことがただ給料を得ることや、雇用率を満たすだけになってしまふことは、決してありません。自分自身に誇りを持つことや自信に繋がること、自分の人生に希望を持てるような働き方ができるような支援を事業所としてしていきたいと考えています。関心のある方はお声かけください。



就労移行支援事業所ワークネットきょうとの情報通信「コンパス」第34号をお届けします。
 前回の発行から4名の方（小売・清掃・事務）が就職されました！おめでとうございます！

就労選択支援

就労選択支援とは2025年10月より、新たな就労系の福祉サービスとして開始された事業です。これまで一般就労の経験のない障害者の方が、B型事業所を利用する際には、就労アセスメントを就労移行支援事業所で実施する必要がありました。就労移行支援事業は、B型事業所の利用だけを目的にするのではなく、一般就労やA型及びB型の選択のサポートやご本人の現在持ち合わせている能力の評価、地域にある社会資源の情報提供を行いながら、ご本人の将来の働き方を一緒に考えていきます。（福祉サービスや労働系サービスの利用調整を行うサービスです。）

就労や福祉サービスの専門分野・就労系サービス・一般就労分野においても多様化されていく中で、これまでの就労準備性が必ずしも働けず、必須要件ではなくなりつつあり、必要な合理的配慮も個性がさらに高くなっています。

そのような中で、一定数の一般就労への就職支援を実践してきた事業所が対象の要件として、「就労選択支援事業」が開設されました。

また、他府県では特定のB型事業所への利益誘導などが問題となっており、適切な情報提供は福祉サービスの利用において、全国的な重要な課題となっています。

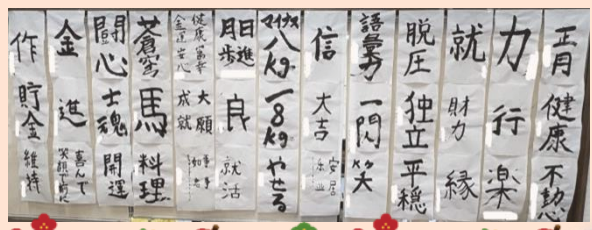
現在、この事業は、京都市内に3ヶ所の事業所と京都府内ではワークネットきょうとのみが指定を受けています。現在はまだ経過措置となっていますが、今後は、就労選択支援を利用したうえでなければ、B型事業所の利用はできなくなります。

ワークネットきょうとでは、
 ①通所を通じたアセスメント
 ②訪問によるアセスメント

- ①対象者の聞き取り／現在の思いと将来の方
向性や見通しについて
- ②近隣の社会資源の情報提供
- ③ワークサンプリの実施
- ④希望する企業や事業所の見学
- ⑤対象者の環境面や個人に対して
これらの手段を組み合わせて、対象となる方のモチベーションを尊重しながら、自立や生きがいになる働く場所や働き方、方向性を考えることができるように相談に乗りまます。

また、制度としても運用が始まったばかりのものであり、手探りで実施するものにはなりますが、興味や関心がある方は、いつでもご相談に乗りまます。

就労移行支援事業所ワークネットきょうとの情報通信「コンパス」第34号をお届けします。
 前回の発行から4名の方（小売・清掃・事務）が就職されました！おめでとうございます！



書初めを行いました！
 2026年へのそれぞれの
 想いが込められています！！

出来立てのお餅を食べながら和気あいあいと過ごし、素敵な笑顔で溢れていました！久しぶりに会う方々も多くとても盛り上がりました！



餅つき大会を
 行いました！



● 栄仁会ワークネットきょうと ●

精神障害をお持ちの方で、一般企業での就労を希望される方を対象に訓練を行っています。
 随時見学・体験利用を受け付けていますので、まずはお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

ホームページは
 こちら→

